

シラバス参照

シラバス検索 > シラバス参照

講義名	教養基礎セミナー1②		
(副題)			
開講責任部署	工学部先端工学基礎学科		
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	1.00	時間	0.00
代表曜日	金曜日	代表時限	2時限
校地			
科目分類名	教養科目		
科目分野名			
英文科目名	Basic Academic Seminar 1(2)		
開講学期	1		

担当教員

職種	氏名	職名
教育職員	◎ 浅野 幸治	准教授
非常勤講師	鈴木 善太郎	—

授業の目的・方針	この授業では、大学生にとって必須な技術、すなわち論理的な文章を書く技術を伝授する。授業は、前半と後半に分かれる。前半はいわば基礎編であり、まず文章を書くことと論文の作法について教授する。後半は実践編であり、学生諸君にはさまざまな主題について実際に小論文を作成してもらい、それを材料に学生諸君の文章能力を丁寧に指導していく。
授業の達成目標	① 客観的で平明な文章を書けるようになること。 ② 論文の作法を身につけること。 ③ 実際に頭を使って自分の考えをまとめ、レポートや研究論文を書けるようになること。
学習・教育目標	【学部ディプロマポリシーに基づく。〔対応する授業の達成目標〕】 ◎ (i) 日本語による的確なコミュニケーション能力および英語等の外国語による基本的なコミュニケーション能力〔①～③〕 ○ (ii) 物事に対して幅広い見方、考え方ができるとともに、説明できる能力〔①～③〕 — (iii) 十分な工学基礎の知識を修得し、それを工学分野の学習に適用する能力〔 〕 — (iv) 機械システム、電子情報および物質工学の各分野の基礎知識とこれらの内少なくとも1分野の専門知識・技術〔 〕 — (v) 目標を把握し、創造性を発揮し解決策を立て、問題を解決する能力〔 〕 — (vi) 修得した学識と能力を応用し、技術者の果たすべき役割と社会的責任を理解しつつ、研究を遂行できる能力〔 〕
授業形式	2クラス編成（後半クラス）
成績評価方法	〔 〕内は対応する授業の達成目標 ----- 宿題50%〔①②③〕、レポート50%〔①②③〕
教科書	戸田山和久著「論文の教室——レポートから卒論まで」（日本放送出版協会）2002年 ISBN No.4-14-001954-9
参考書、文献	(1) 伊勢田哲治著「哲学思考トレーニング」（ちくま新書）2005年 ISBN No.4-480-06245-9 (2) 小河原誠著「読み書きの技法」（ちくま新書）1996年 ISBN No.4-480-05659-9 (3) 河野哲也著「レポート・論文の書き方入門」（慶應義塾大学出版会）2002年 ISBN No.978-4766409697 (4) 山内志朗著「ぎりぎり合格への論文マニュアル」（平凡社新書）2001年 ISBN No.4-582-85103-7 (5) 東京大学立花隆ゼミ+立花隆著「二十歳の君へ 16のインタビューと立花隆の特別講義」（文芸春秋）2011年 ISBN 978-4-16-373520-7 (6) 徳田雄洋著「デジタル社会はなぜ生きにくいのか」（岩波新書）2009年 ISBN No.978-4-00-431185-0 (7) 三浦展著「下流社会—新たな階層集団の出現」（光文社新書）2005年 ISBN No.4-334-03321-0 (8) 小笠原信之著「伝わる！文章力が身につく本」（高橋書店）2011年 ISBN No.978-4-471-19116-0

(曜日・時間帯・場所等)

授業オフィスアワー

浅野 月曜から木曜までの昼休み (12:30～13:00) 鈴木 授業後の休憩時間、メールでの質問も歓迎

準備学習、注意事項

授業時間外の学習 [準備学習等]、および学習上の注意事項

作文課題が宿題として頻繁に出されるので、課題を執筆・提出することが必須である。

授業計画表

回	担当教員	テーマ	内容・達成目標	範囲 (章、ページ番号)
1	浅野幸治	序論	全体の見通し	
2	浅野幸治	文章	文章とは何か	
3	浅野幸治	文章	文章をいかに書くべきか	P.205～P.228
4	浅野幸治	論文 1	論文とは何か	P.36～P.50
5	浅野幸治	論文 2	論文の型	P.72～P.138
6	浅野幸治	論文 3	論証	P.139～P.177
7	浅野幸治	論文の作法 1	注や引用など	P.229～P.238
8	浅野幸治	論文の作法 2	文献表や記号など	P.238～P.255
9	鈴木善太郎	思考の工学	立花隆から学ぶ「知的生産の技術」	
10	鈴木善太郎	情報化社会の落とし穴	デジタル社会の光と影	
11	鈴木善太郎	新聞を読もう 1	科学記事から考える私たちの10、20年後	
12	鈴木善太郎	新聞を読もう 2	三面記事から分かる現代社会の断面	
13	鈴木善太郎	小説家の文章表現	村上春樹から学ぶスピーチ作法	
14	鈴木善太郎	科学者の文章入門	寺田寅彦から学ぶ「東日本大震災の教訓」	
15	鈴木善太郎	何を書くべきか	戦略的作文術のすすめ	
16		定期試験 (レポートで代替)		